

平成 20 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 大植 賢治「運動の認識における身体内部および外部への能動的注意が脳活動に及ぼす影響」
2. 川崎 翼「身体位置関係の認識と立位姿勢バランス能力の関連性」
3. 河野 正志「道具の観察における上肢の位置が運動イメージに及ぼす影響」
4. 高濱 宏「高齢者における固有感覚を基にした上肢の知覚学習に関する研究」
5. 谷口 博「プリズム順応課題の脳活動と治療効果」
6. 中野 英樹「立位姿勢制御に効果的に作用する足底の知覚学習に関する研究」
7. 信迫 悟志「視線方向認知の脳内機構とその課題の臨床効果に関する研究」
8. 林部 美紀「動作観察時の作業療法士と作業療法学生の視点の相違」
9. 藤田 浩之「足底知覚学習課題が後期高齢者の立位姿勢バランスに及ぼす効果」
10. 藤本 昌央「運動イメージの鮮明化に影響する言語の分析」
11. 前井 千早「介護老人保健施設における認知症ケアの現状と今後の課題」
12. 松下真一郎「自閉症スペクトラムにおける聴覚的リズムの視覚的情報処理とその特徴」

平成 21 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 河村 民平「ワーキングメモリ容量の違いが音声言語情報処理およびその聴覚ラテラルティに及ぼす影響 -Dichotic Listening Test を用いた検討-」
2. 熊谷奈緒子「錯視課題における眼球運動の特徴-自閉症スペクトラムと定型発達児の比較-」
3. 河村 章史「Differential activation between externally-triggered and self-initiated movements: Motor execution and motor imagery」
4. 十河 彩子「ワーキングメモリ課題の難易度による脳活動の違いとストレス反応との関係」
5. 平松 佑一「言語情報の提示が上肢の運動制御に及ぼす影響」
6. 湯川 喜裕「脳卒中片麻痺患者における振動誘発運動感覚錯覚中の脳活動」
7. 吉田 慎一「空間の差異が脳活動に及ぼす影響 -近位空間と遠位空間の比較-」

平成 22 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 上原 貴廣「片脚立位安定性が非支持脚からの体性感覚入力・処理に与える影響」
2. 大槻 哲也「予測困難な外乱が立位姿勢制御に及ぼす影響-負荷強度および空間の観点から-」
3. 河石 優「歩行中における床面素材の変化に対する適応過程」
4. 佐藤 剛介「脊髄損傷者の運動イメージ能力の検討」
5. 清水 重和「道具の観察及びシミュレーションが脳活動に与える影響」
6. 末吉 夏子「位置弁別課題がヒラメ筋 H 反射と体性感覚誘発電位(SEP)に及ぼす影響」
7. 高木 泰宏「視覚情報提示による自己運動錯覚が脳活動に与える影響」
8. 若田 哲史「道具の部位がパントマイム及び実使用時の脳活動に与える影響」
9. 脇田 正徳「変形性股関節症患者の運動イメージ能力の検討」

平成 23 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 植田 耕造「正常歩行と揃い型歩行の大脳皮質活動」
2. 大住 倫弘「痛みの内的体験の慣れにおける脳活動」
3. 尾崎 新平「意図的および偶発的学習条件の違いが運動学習の保持・転移に及ぼす影響」
4. 草場 正彦「上肢到達・把握運動における観察部位の違いが脳活動に及ぼす影響」
5. 千代原真哉「連続的運動学習が安静時脳活動に及ぼす影響」
6. 永幡 哲也「optic flow が立位姿勢における外乱応答に及ぼす影響」
7. 板東 正記「人工膝関節置換術前後における運動イメージの変化と影響を及ぼす因子」

平成 24 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 小澤加奈子 「試験におけるケアレスミスの原因 – 注意機能と性格特性の要因からの検証 –」
2. 千賀 唯 「Rubber hand illusion によって誘発された錯覚の強さとモダリティとの関係」
3. 岸浦有美子 「サブリミナル刺激による顔表情の潜在知覚と痛みの感受性について」
4. 青木 智子 「サブリミナルプライミングによる自動的な反応選択時の脳活動」
5. 大松 聡子 「ペダリング運動前後における情動、セロトニン神経活動と脳活動の変化」
6. 幸田 仁志 「車椅子座位における殿部への外力軽減のためのシーティングメカニズムの検討」
7. 此上 剛健 「脳性両麻痺児の運動イメージとその関連因子の調査」
8. 豊田 有紀 「脳卒中片麻痺者における運動錯覚誘起の有無と脳損傷部位および身体機能の関係性」
9. 福井 祥二 「ミラーセラピー時の上肢皮膚温変化 – 手の左右認識課題との関連 –」

平成 25 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 山田めぐみ 「Star Excursion Balance Test 中支持脚膝関節の運動解析」
2. 宗宮ゆりえ 「触覚の弁別が α 運動ニューロンの興奮性に及ぼす影響」
3. 辻本 憲吾 「運動視刺激を用いたボトムアップおよびトップダウン的注意喚起が脳波活動に及ぼす影響」
4. 中井 秀樹 「過去の呼吸経験により形成された予測情報とその後の呼吸困難感に及ぼす影響」
5. 藤原 菜津 「跨ぎ動作による障害物回避計画時の脳活動」
6. 淵上 健 「自己と他者の歩行観察における脳活動について」
7. 宮崎 有希 「身体部位に関連した動詞が運動と運動準備に与える影響 – 事象関連電位を用いて –」

平成 26 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 浅野 大喜「運動障害をもつ子どもの身体イメージと運動機能の関係」
2. 石垣 智也「Light Touch 効果に関係する脳活動の検討 -脳波周波数解析を用いて-」
3. 今井 亮太「橈骨遠位端骨折術後に対する腱振動刺激による運動錯覚が急性疼痛に与える効果」
4. 大門 恭平「2 者の対話における共感に関連する要因の検討」
5. 尾川 達也「ライフゴール概念を取り入れた目標設定が入院患者のネガティブ感情とリハビリテーションへの参加意欲に与える影響 - 準ランダム化比較試験による検討 -」
6. 菅沼 惇一「高所による恐怖環境が静止立位中の sensory reweighting に与える影響」
7. 保屋野健悟「視点取得と談話機能の関係 - ポライトネス理論からの検討 -」
8. 湯田 智久「ラバーハンド錯覚が手容積に与える影響の検討」
9. 脇 聡子「歩行開始時における補足運動野の活動 - 運動準備電位を用いて -」

平成 27 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 赤口 諒「妬み経験が主観的痛みに与える影響 - 脳波を用いて -」
2. 片山 脩「感覚 - 運動の不一致により惹起される異常知覚の要因」
3. 坂内 掌「定量化された脳卒中患者の麻痺肢の運動意図と麻痺肢の運動機能・使用頻度および機能改善との関係」
4. 塩崎 智之「主観的身体垂直のエラー顕在化時の脳活動について - 視覚情報を用いた顕在化の検討 -」
5. 高村 優作「Studies on the recovery process after unilateral spatial neglect: intentional gaze shift to the neglected space as a compensatory strategy」
6. 竹下 和良「車いす駆動様式の違いが大脳皮質活動に及ぼす影響 - 機能的近赤外線分光法を用いた検討 -」
7. 田中 陽一「ソーシャルスキルが痛み感受性に与える影響」
8. 中田 佳佑「身体意識の変容に伴う身体近傍空間の知覚の変化」
9. 中谷 友紀「運動学習課題における運動予測の可否が気分に及ぼす影響」
10. 安田 夏盛「認知課題における疼痛抑制メカニズムの検証 - 生化学検査を用いて -」
11. 山本 浩人「適応的運動学習における時間的・空間的制御に関連した課題前安静時脳活動の検討 - power spectrum 解析を用いて -」

平成 28 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 上田 将吾「名詞の視覚提示が上肢の把持・挙上動作の制御に及ぼす影響」
2. 楠元 史「変形性膝関節症患者における歩行時の自己身体認識能力の検討
- バイオロジカルモーション課題を用いて -」
3. 重藤 隼人「徒手牽引が有する鎮痛効果の検証 - 信号検出理論を用いて -」
4. 首藤 隆志「運動観察干渉課題とミラーニューロンシステムとの関連性」
5. 西 勇樹「交感神経活動及び情動の変調と内受容感覚の精度の関係性」
6. 西 祐樹「Psychological and personality traits related to maladaptive pain-related avoidance behavior: a novel fear-conditioning paradigm」
7. 藤井慎太郎「半側空間無視における反応時間の空間分布特性 - 注意障害と無視症状の関連とその回復特性 -」
8. 藤橋 亮介「腱振動刺激による運動錯覚を効果的に惹起させる手続きの検討 - 錯覚経験が与える影響に着目して -」

■ 松尾研究室

1. 佐藤 洋平「身体言語の表出に関わる神経機構
- 身体言語は音声言語と共通の神経基盤を持つか? -」

■ 冷水研究室

1. 林 修平「自己身体知覚の正確性と姿勢制御能力の関係性の検証」

平成 29 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 水田 直道「脳卒中後症例における歩行速度と運動麻痺の関連性
－運動学／筋電図学的な側面からの検討－」
2. 田中 創「変形性膝関節症患者における 5 ヶ月後の能力障害の予測因子の検証
－痛み関連因子に着目して－」
3. 山道 菜未「固定物およびヒトに対するライトタッチによる立位姿勢制御特性
－周波数成分に着目して－」
4. 大西功一郎「在宅要介護認定者の生活空間における活動性の実態とその類型化
－クラスター解析による閉じこもりタイプ分類の試み－」
5. 林田 一輝「他者との目的共有が運動主体感と運動学習に及ぼす影響」

■ 松尾研究室

1. 嶋原 孝博「ランダムノイズ刺激が足底感覚に与える影響」

■ 冷水研究室

1. 西脇 寿弥「回復期脳卒中患者における二重課題遂行能力に影響を与える因子の検討」

平成 30 年度修了生

■ 森岡研究室

1. 大竹 康平「地域に在住するパーキンソン病者の歩行分析」
2. 玉木 義規「道具の新奇性および行為の要求が道具観察時の視線探索に与える影響」
3. 寺田 萌「模倣障害症例における自動詞ジェスチャー模倣に関わる注視特性」
4. 藤井 廉「腰痛を持つ労働者の重量物持ち上げ動作の動作特性－痛み関連因子に着目して－」
5. 舞田 大輔「行動学的視点から観察した運動イメージと視覚的運動錯覚の等価性」

■ 岡田研究室

1. 蓮井 成仁「脳卒中患者の歩行障害に対して短下肢装具の足継手の差異が及ぼす影響」

■ 信迫研究室

1. 長倉 侑祐「急性期・亜急性期疼痛患者における内受容感覚の精度と罹患期間および心理的特性との関係性について」